

## 信仰について①赦す信仰

ルカの福音書17:1-4  
2013,8,18 HKJCF

## 概観

序)①エルサレムへの旅 ②弟子への信仰  
についての教え ③具体的適用と本質

- 1、宣教と教会形成
- 2、つまずきの本質
- 3、十字架による解放
- 4、適用と祈り

## I 宣教と教会形成

- 1、弟子の派遣 ルカ9:1-6
  - 2、パウロの宣教方法 使徒19:8-10
  - 3、「私は私の教会を建てる」マタイ16:18  
教会も誤りを犯すが、キリスト教への悲しい誤解も絶えない⇔聖書自身に聴く
- 例)①ローマ帝国の滅亡 古代→中世  
②ヨーロッパ100年戦争 中世→近代  
③地球規模の環境破壊 近代→?  
親が全て悪いがごとく、全て神の責任?

## II つまずきの本質

- 1、スキャンダルとゴシップ(誘惑・裁き)
  - 2、罪の本質:神への不信頼・自己偶像化
  - 3、侮りと裁きの悪循環 ローマ14:10-12  
信仰のつまずきからの解放
- ①間違った態度(誘惑・戒めない・裁く)  
②「つまづく」側の(誤解と裁き)の正当化  
(サタンの戦略:自己神化と責任転嫁)  
⇒十字架:自分に「つまづく」必要!

## III 十字架による解放

- 1、自己神化
  - 2、責任転嫁
  - 3、侮り・裁き
- ⇒神様の基本戦略:十字架 I コリ1:18-25
- ①原罪:神への不信頼→自己神化→責任転嫁→自己中心・傲慢(侮り/裁き)・偽善
  - ②神の子の真実・誠実な生き方
  - ③十字架信仰の具体的適用 愛・義・赦し

## IV 適用と祈り

- 1、神様、私は簡単に人を侮り・裁き、自分中心な基準で人や物事を判断し、決めつけることを習慣としてきました
- 2、しかし、それでは真実の愛が働かず、人に感謝することや人を育てることができないことを知りました
- 3、どうか私が自己中心で傲慢な者であることを認め、十字架の赦しを受け、愛に生きられますよう聖霊の導きと満たしをお与えください